



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 秀樹 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	33,718	9.2	1,893	12.0	2,109	8.3	1,481	15.7
26年3月期第3四半期	30,884	△1.1	1,691	15.6	1,949	15.2	1,281	△8.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,131百万円 (△15.2%) 26年3月期第3四半期 2,515百万円 (63.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	53.26	—
26年3月期第3四半期	46.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	57,124	36,239	63.3
26年3月期	51,269	33,941	66.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 36,144百万円 26年3月期 33,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	11.4	1,200	67.6	1,400	35.8	1,000	101.8	35.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	30,563,199株	26年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,716,109株	26年3月期	2,756,244株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	27,826,162株	26年3月期3Q	27,760,168株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、かつ様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 主力品の売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高337億1千8百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益18億9千3百万円（前年同期比12.0%増）、経常利益21億9百万円（前年同期比8.3%増）、四半期純利益14億8千1百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

なお、法人税、住民税及び事業税は11億2千9百万円となっておりますが、当期間において税務上損金算入しない費用が一部あることから、税効果会計に基づき繰延税金資産を計上し、法人税等調整額5億8千3百万円を控除したため、法人税等合計額は5億4千5百万円となっております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①医薬品事業

当期間の売上高は、昨年4月の薬価引き下げや同年9月の経皮吸収型鎮痛消炎剤セルタッチの販売終了に加え、長期収載品である前立腺肥大症・癌治療剤プロスタールや消化性潰瘍・胃炎治療剤アルタットの不振等があったものの、同年9月に他社に先行して発売したオーソライズド・ジェネリックカンデサルタン、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リユープロレリンが売上増加に貢献したほか、甲状腺ホルモン剤チラーゼンや緊急避妊剤ノルレボ等の堅調も手伝い306億6千5百万円（前年同期比9.8%増）となり、セグメント利益は32億8百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

②その他

その他事業として動物用医薬品、検査、医療機器、食品等を展開しております。動物用医薬品が主要な分野であり、コンパニオンアニマル製品等の売上が引き続き増加したこと等により、売上高は30億5千2百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は1億4千3百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ58億5千5百万円増加し、571億2千4百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金および有価証券等が増加したためであります。

負債につきましては、35億5千6百万円増加し、208億8千4百万円となりました。これは退職給付に係る負債等は減少しましたがその他および未払法人税等などが増加したためであります。

純資産につきましては、22億9千8百万円増加し、362億3千9百万円となりました。これは退職給付会計基準の改正に伴う会計処理の変更および四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したためであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.8ポイント低下し63.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成26年11月4日に公表した予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が832百万円減少し、利益剰余金が536百万円増加しております。なお、勤務費用の計算方法が変更されたことによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、当期首より前に信託契約を締結し、従来採用していた方法による会計処理を継続しておりますので、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,269	5,084
受取手形及び売掛金	7,442	9,797
有価証券	2,650	4,149
商品及び製品	6,422	6,001
仕掛品	913	1,004
原材料及び貯蔵品	1,896	2,157
その他	2,520	3,203
流動資産合計	26,115	31,398
固定資産		
有形固定資産	12,400	12,476
無形固定資産	695	558
投資その他の資産		
投資有価証券	7,220	8,484
その他	4,933	4,297
貸倒引当金	△113	△95
投資その他の資産合計	12,040	12,686
固定資産合計	25,137	25,720
繰延資産	16	5
資産合計	51,269	57,124
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,074	5,071
短期借入金	1,441	908
未払法人税等	43	1,071
その他の引当金	1,176	727
その他	2,493	5,402
流動負債合計	9,229	13,181
固定負債		
長期借入金	116	587
退職給付に係る負債	7,444	6,796
その他の引当金	292	276
その他	244	42
固定負債合計	8,098	7,703
負債合計	17,327	20,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	33,107	34,736
自己株式	△2,487	△2,467
株主資本合計	32,663	34,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,642	2,206
退職給付に係る調整累計額	△399	△374
その他の包括利益累計額合計	1,242	1,832
少数株主持分	35	95
純資産合計	33,941	36,239
負債純資産合計	51,269	57,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	30,884	33,718
売上原価	17,088	20,443
売上総利益	13,795	13,275
返品調整引当金繰入額	4	△0
差引売上総利益	13,791	13,276
販売費及び一般管理費	12,099	11,382
営業利益	1,691	1,893
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	147	143
不動産賃貸料	162	172
その他	33	30
営業外収益合計	349	350
営業外費用		
支払利息	8	10
賃貸借契約解約損	—	64
その他	83	59
営業外費用合計	91	134
経常利益	1,949	2,109
特別利益		
関係会社株式売却益	—	58
特別利益合計	—	58
特別損失		
事業再編損	—	80
特別損失合計	—	80
税金等調整前四半期純利益	1,949	2,087
法人税、住民税及び事業税	337	1,129
法人税等調整額	291	△583
法人税等合計	628	545
少数株主損益調整前四半期純利益	1,320	1,541
少数株主利益	39	59
四半期純利益	1,281	1,481

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,320	1,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,194	564
退職給付に係る調整額	—	25
その他の包括利益合計	1,194	589
四半期包括利益	2,515	2,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,475	2,071
少数株主に係る四半期包括利益	39	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	27,926	2,958	30,884	-	30,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	40	40	△40	-
計	27,926	2,998	30,924	△40	30,884
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,038	181	3,220	△1,528	1,691

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,528百万円には、各セグメントに配分していない全社費用△1,528百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	30,665	3,052	33,718	-	33,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	36	37	△37	-
計	30,666	3,089	33,756	△37	33,718
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,208	143	3,352	△1,458	1,893

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,458百万円には、各セグメントに配分していない全社費用△1,458百万円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループのセグメント区分は、従来、「医薬品事業」および「その他の事業」の2つの事業セグメントに区分し、「医薬品事業」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「医薬品事業」「動物用医薬品事業」および「その他の事業」の3つの事業セグメントに区分することといたしました。

これは、平成26年6月に実施したあすかアニマルヘルス株式会社への事業の分割に伴い、医薬品事業の意思決定プロセスを見直した結果「医薬品事業」に含まれておりました動物用医薬品等の製造、販売ならびに輸出入に関する事業を「動物用医薬品事業」に区分したためであります。ただし、「動物用医薬品事業」と「その他の事業」については重要性がないため報告セグメントに含めず、「その他」として表示し、「医薬品事業」を報告セグメントとしております。

なお、当該セグメント区分の変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しております。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更いたしました。

なお、この変更による各セグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

4. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(平成27年3月期 第3四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成26年3月期		当 期 平成27年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第3四半期 実績	年間実績	第3四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン	-	-	43.0	73.0	-
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	36.5	46.0	38.4	50.0	5.3
高脂血症治療剤 リピディル	34.2	44.2	35.1	45.3	2.6
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	17.9	21.2	15.1	19.3	△ 15.7
経皮吸収型鎮痛消炎剤 セルタッチ	29.8	34.5	14.9	14.9	△ 50.1
高血圧症治療剤 アムロジピン	14.8	18.7	14.2	18.5	△ 4.3
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	-	3.2	13.5	18.8	-
前立腺肥大症・癌治療剤 プロスタール	13.4	16.3	10.3	12.8	△ 23.4
消化性潰瘍・胃炎治療剤 アルタット	9.6	11.9	7.3	9.3	△ 23.4
プロトンポンプ阻害剤 ラベプラゾール	6.6	8.4	7.3	9.5	10.7
経口避妊剤 アンジュ	9.1	12.2	7.1	9.5	△ 21.6
緊急避妊剤 ノルレボ	5.3	7.0	6.4	8.0	20.3